

Neuro2013

第 36 回日本神経科学大会
第 56 回日本神経化学会大会
第 23 回日本神経回路学会大会
合同大会

協賛シンポジウムのご案内

会 期:2013 年 6 月 20(木) ~ 23 日(日)
会 場:国立京都国際会館
主 催:Neuro2013
第 36 回日本神経科学大会
第 56 回日本神経化学会大会
第 23 回日本神経回路学会大会 合同大会

ご挨拶

この度、第36回日本神経科学大会、第56回日本神経化学学会大会ならびに第23回日本神経回路学会大会が、2013(平成25)年6月20日(木)から23日(日)の4日間、国立京都国際会館にて、「Neuro2013」と称して、合同で開催される運びとなりました。3学会での合同大会は、2007、2010に続いて、3回目となります。

これに加えて今回は、第11回世界生物学的精神医学会国際会議/ The 11th World Federation of Societies of Biological Psychiatry (WFSBP) 6月23日 - 27日(同会場)との連携開催として、共同シンポジウムや参加費の割引などを検討しているところです。

元来、脳研究は、ハードウェアとしての脳・神経の生物学的な研究から、その動作原理を探る計算論的研究まで、学際的な研究体制が必要とされる点が特徴であります。特に今回の合同大会は、生物学的精神医学をも視野に入れた、脳・神経研究の幅広い分野をカバーする大会となります。

21世紀は脳の世紀と言われておりますが、とりわけ、2010年からの10年間に「精神疾患の10年」としようではないか、と提唱されており、これまで大いに進歩した神経科学を元に、精神疾患という、謎の疾患の解明を進めようという機運が高まっています。神経科学が盛んで、高度に発展した医療体制を持ち、精神疾患に取り組むことのできる国は、世界でもわずかです。脳研究が国家的に推進され、高度の脳神経研究の基盤を持ち、多くの脳神経研究者を擁するわが国には、うつ病、認知症を初めとする、社会的に大きな影響を与えている精神神経疾患を解明する責務があると言っても過言ではありません。

そのためにも、基礎研究の推進は欠かせません。最近のオプトジェネティクス、ブレインマシンインターフェイスなどの高度の研究技術の発展は、ニューロフィードバックなど、新たな応用可能性への方向をも指し示しています。基礎研究と臨床研究が融合した、新たな脳神経科学が、今まさに花開こうとしています。

Neuro2013では、学際性・国際性の推進、臨床との連携、および若手育成を目指し、WFSBPとの連携を初めとする幅広い分野からの参加の促進、4人の外国人研究者によるプレナリー講演、すべての学術セッションの英語での実施、アジアを中心とするトラベルアワード、臨床連携プログラム、若手によるポスターおよび一般口演の重視などを行っていきます。

つきましては、貴社のご協力を賜りたく、下記のとおりご案内申し上げます。多数のご応募をお待ちいたしております。

未筆になりましたが、貴社の今後益々のご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

謹白

第36回日本神経科学大会
大会長 加藤 忠史
(理化学研究所 脳科学総合研究センター)

第56回日本神経化学学会大会
大会長 木山 博資
(名古屋大学大学院医学系研究科)

第23回日本神経回路学会大会
大会長 五味 裕章
(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

開催概要

1. 名 称: Neuro2013
第 36 回日本神経科学大会
第 56 回日本神経化学会大会
第 23 回日本神経回路学会大会
合同大会
2. 大会長:
第 36 回日本神経科学大会
加藤 忠史(理化学研究所脳科学総合研究センター)
第 56 回日本神経化学会大会
木山 博資(名古屋大学大学院医学系研究科)
第 23 回日本神経回路学会大会
五味 裕章(NTT コミュニケーション科学基礎研究所)
3. 開催期間:2013(平成 25)年 6 月 20 日(木)~23 日(日)
4. 会 場:国立京都国際会館
〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池
5. 予定参加者数:3,000 名
6. 大会事務局:株式会社コングレ
千葉 義之、村田 由里
〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル
TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552
E-mail:staff@neuro2013.org
7. 大会ホームページ: <http://www.neuro2013.org/>

8 . Neuro2013 委員一覧

大会長

加藤 忠史	理化学研究所脳科学総合研究センター
木山 博資	名古屋大学大学院医学系研究科
五味 裕章	NTT コミュニケーション科学基礎研究所

実行委員長

上口 裕之	理化学研究所脳科学総合研究センター
山田 清文	名古屋大学大学院医学系研究科
池田 和司	奈良先端科学技術大学院大学

実行委員

藤井 直敬	理化学研究所脳科学総合研究センター	細谷 俊彦	理化学研究所脳科学総合研究センター
工藤 喬	大阪大学大学院医学系研究科	橋本 均	大阪大学大学院薬学研究科
小川 正	京都大学大学院医学研究科	森本 淳	国際電気通信基礎技術研究所

プログラム委員長

柴田 智広	奈良先端科学技術大学院大学
糸原 重美	理化学研究所脳科学総合研究センター
小泉 修一	山梨大学大学院医学工学総合研究部

プログラム委員

塩坂 貞夫	奈良先端科学技術大学院大学	加藤 總夫	東京慈恵会医科大学
合田 裕紀子	理化学研究所	仙波 恵美子	和歌山県立医科大学
鍋倉 淳一	自然科学研究機構	糸原 重美	理化学研究所
真鍋 俊也	東京大学	藤井 直敬	理化学研究所
渡辺 雅彦	北海道大学	橋本 均	大阪大学
岡村 康司	大阪大学	黒田 公美	理化学研究所
細谷 俊彦	理化学研究所	岡村 均	京都大学
岡部 繁男	東京大学	岡ノ谷 一夫	理化学研究所
池中 一裕	自然科学研究機構	銅谷 賢治	沖縄科学技術研究・交流センター
中島 欽一	奈良先端科学技術大学院大学	宮川 剛	藤田保健衛生大学
小泉 修一	山梨大学	山田 清文	名古屋大学
五嶋 良郎	横浜市立大学	工藤 喬	大阪大学
上口 裕之	理化学研究所	那波 宏之	新潟大学
等 誠司	自然科学研究機構	高橋 良輔	京都大学
高橋 淑子	奈良先端科学技術大学院大学	山中 宏二	理化学研究所
仲嶋 一範	慶應義塾大学	山脇 成人	広島大学
澤本 和延	名古屋市立大学	岩坪 威	東京大学
相澤 慎一	理化学研究所	田口 明彦	(財)先端医療振興財団先端医療センター
影山 龍一郎	京都大学	高橋 英彦	京都大学医学部附属病院
林 康紀	理化学研究所	内匠 透	広島大学
小川 正	京都大学	須原 哲也	(独)放射線医学総合研究所
内藤 栄一	(独)情報通信研究機構	池田 和司	奈良先端科学技術大学院大学
今水 寛	(独)情報通信研究機構	森本 淳	国際電気通信基礎技術研究所
伊佐 正	自然科学研究機構	柴田 智広	奈良先端科学技術大学院大学
藤田 一郎	大阪大学	神谷 之康	国際電気通信基礎技術研究所
谷藤 学	理化学研究所	八木 哲也	大阪大学
津田 誠	九州大学	中井 淳一	埼玉大学
東原 和成	東京大学	八尾 寛	東北大学
南部 篤	自然科学研究機構	佐倉 統	東京大学

柏野 牧夫	日本電信電話株式会社コミュニケーション科学基礎研究所	Ole Kiehn	Mammalian Locomotor Lab, The Karolinska Institute, Sweden
金子 武嗣	京都大学	Minho Lee	Kyungpook National. University
河田 光博	京都府立医科大学	Eric Klann	Center for Neural Science New York University

組織委員

岡野 栄之	慶應義塾大学	竹市 雅俊	理化学研究所
金澤 一郎	国際医療福祉大学	津本 忠治	理化学研究所
川人 光男	ATR脳情報通信総合研究所	遠山 正彌	大阪大学
木村 實	玉川大学	中西 重忠	(財)大阪バイオサイエンス研究所
祖父江 元	名古屋大学	鍋島 俊隆	名城大学
高坂 新一	国立精神・神経医療研究センター	御子柴 克彦	理化学研究所
高井 義美	神戸大学		

協賛シンポジウム募集内容

1. 協賛金

シンポジウム1件につき100万円です。複数のシンポジウムに対する協賛も可能ですが、その場合も1件100万円となります。なお、協賛金のうち4割を上限としてシンポジウムのオーガナイザーにお渡しし、シンポジウムの開催経費(海外からシンポジストを招聘する際の渡航費等)を支援する予定です。

2. シンポジウムの選択

確定しているシンポジウム(別添)より、協賛されたいシンポジウムをお選びください。シンポジウムのオーガナイザーには大会主催者から交渉いたしますが、承諾を得られた後であれば、企業の方から直接ご連絡をお取りいただいても構いません。なお、該当シンポジウムの開催日の決定は、2013年2月下旬予定です。

3. 企業・団体名の表示・掲載

- ・シンポジウムのタイトルの後に、「協賛： 社」(日本語)、「Sponsored by XXXX」(英語)のように、企業名を表示いたします(シンポジウムのタイトルそのものに企業名を入れることはできません)。
- ・上記の表示方法により、大会ホームページ、大会プログラム冊子に企業名を掲載します。大会ホームページの該当プログラム部分から、貴社・団体ホームページへのリンクを貼ることが出来ます。
- ・シンポジウムは学術発表のための場です。そのためシンポジウムの時間中には企業の宣伝は出来ません。オーガナイザーには、最後に謝辞として企業名をあげてくださるよう大会側からお願いしますが、強制ではありませんので、必ずしも企業名が出るとは限らないことをあらかじめご了承ください。
- ・シンポジウム会場で資料を配布することが出来ます。配布物による企業宣伝は出来ませんが、発表された研究の中で使用されている機材や試薬の紹介をしても構いません。ただし事前に大会およびオーガナイザーの許可を得てください。また本来の研究内容から逸脱しないようご注意ください。

4. 協賛割当金の使途

- ・海外シンポジストの渡航費・滞在費(上限金額はオーガナイザーに一任)
- ・国内シンポジスト(学会員は除く)の旅費についてはオーガナイザーに一任する
- ・資料作成・印刷費:シンポジウム開催にあたり配布資料などにかかる印刷費

5. 申込・問合せ先

Neuro2013 大会事務局
株式会社コングレ 千葉 義之、村田 由里
〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル
TEL:03-5216-5318 FAX:03-5216-5552
E-mail:staff@neuro2013.org
<http://www.neuro2013.org/>

FAX 送信先 03-5216-5552

Neuro2013 協賛シンポジウム 申込書

協賛シンポジウムの趣旨に従い、下記の通り申し込みます。

ふりがな		ふりがな	
会社名		担当者	
部署名		E-mail	
住所	〒		
T E L		F A X	

協賛希望シンポジウム（シンポジウムリストの中から3つまで選択ください）

【第1希望】

番号		テーマ	
----	--	-----	--

【第2希望】

番号		テーマ	
----	--	-----	--

【第3希望】

番号		テーマ	
----	--	-----	--

社名（大会ホームページ、大会プログラム冊子掲載用）

日本語表記の場合は、（株）（財）などになります。

日本語	
英語	

開催日および会場の決定に関しましては、主催者にご一任いただきますようお願い致します。

尚、決定に関しましてはお申込み順とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

申込み提出にあたっては、必ずコピーをとり保管してください。

F A Xでの申込みも受付けております。

<お問合せ先>

Neuro2013 大会事務局

株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル

TEL : 03-5216-5318 FAX : 03-5216-5552

E-mail : staff@neuro2013.org

担当：千葉 義之、村田 由里